

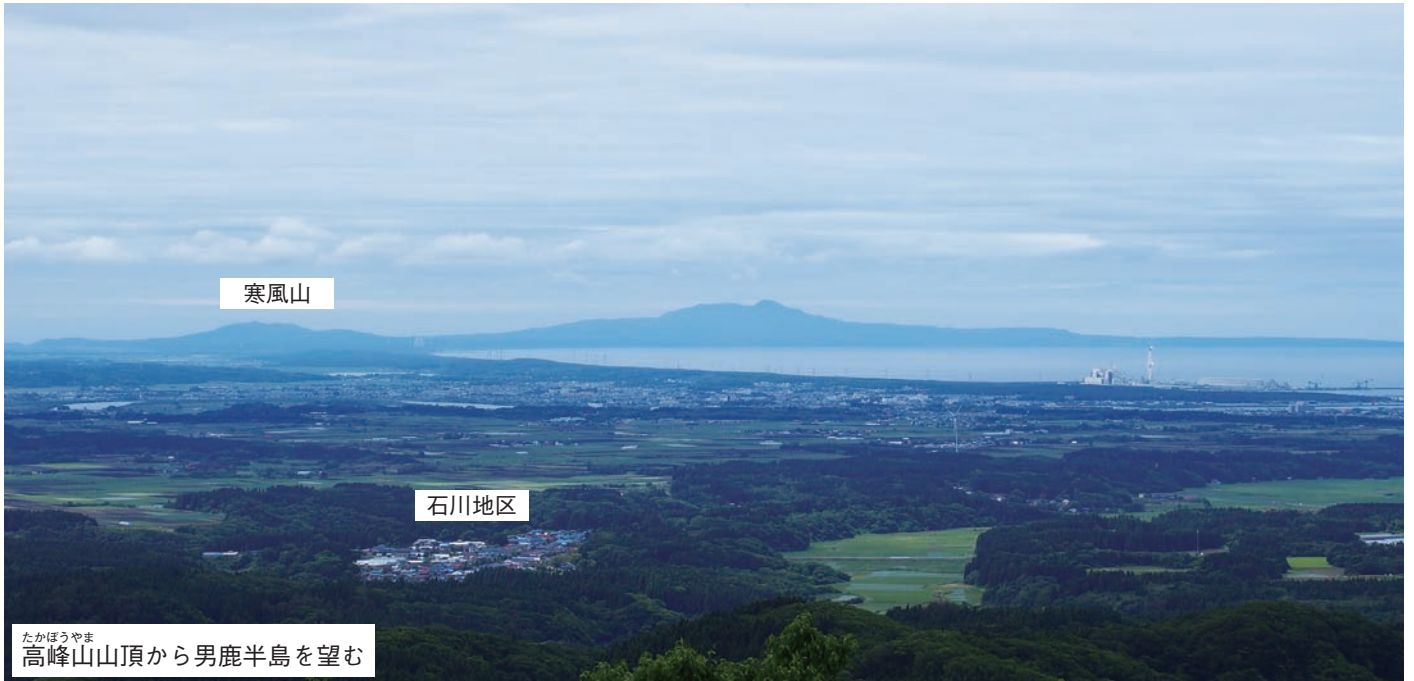
# はたはた

八峰町教育長 千葉良一書

# Vol. 7

## 八峰町関東ふるさと会 会報

### 2016年10月発行



寒風山

石川地区

たかほうやま  
高峰山山頂から男鹿半島を望む

## ハタハタフェスティバルで HATAA-1グランプリ2年ぶり奪回

八峰町関東ふるさと会会長 神馬 信一

会員並びに八峰町の皆様方には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃よりふるさと会の活動に格別のご理解とご高誼に預かり厚くお礼申し上げます。今年ふるさと八峰町では、3月27日に八峰町誕生10周年記念式典が行われました。加藤町長は、式辞で人口減少と少子化が進行し、厳しい状況は続くが、町民と協働し、町を持続できるよう努力すると述べられています。

因みに八峰町では、水沢小と埴川小が統合して峰浜小学校（児童数133名）、八森中と峰浜中が統合して八峰中学校（生徒数163名）になり、本年4月6日にそれぞれ開校式が行われました。八峰町の小・中学校は、小は八森小と合わせて2校、中は1校の合計3校だけになり、全児童生徒は415名になりました。次に、NHK・BSプレミアムで全国放送されている火野正平さんの自転車の旅で、当ふるさと会副会長の北郷洋子さんが、「雄島・黒砂・日本の夕陽」の題名で寄稿したものが取り上げられました。正平さんは黒砂に座り雄島を眺めながら、一人言をいい、皆さんを楽しませてくれました。

八峰町は近年、首都圏で特産品の消費拡大を目的とした物産販売を年数回行っており、ふるさと会の会員はお手伝いする機会が増えて毎回楽しみにしています。中でも一番気合が入るのは、築地本願

寺前の広場で行われている、島根と秋田の両県が協賛するハタハタフェスティバルで「HATAA-1グランプリ」を決定する企画です。今回3回目となりましたが八峰町は、初代チャンピオン、2回目は残念ながら準優勝と涙を飲んだのですが、今回はチャンピオンに返り咲くことができました。

内容は、ハタハタ料理の味を楽しみながら、来場者がおいしさを対応などを総合的に評価して、投票箱に割り箸を入れて、総重量でグランプリを決定するもので、2日間の入場者数3万7千人を数えました。投票の結果、八峰町の「しよつづる鍋」は4・1kgを集め、2位の鳥取県産魚PR推進協議会の「ハタハタ一夜干し焼き」の2・4kgに大差をつけて八峰町が優勝しました。

食材は、全て八峰町産を持ち込み、ハタハタ約千五百匹、豆腐3百g150丁、白神ネギ15kg約7百本、しよつづる5升を使用して、町の職員とふるさと会会員とで、2日間で延べ17人で対応しました。ハタハタは、秋田の県魚に制定されており、民謡秋田音頭に唄われているように、八森ハタハタの面目を保つことができました。町の職員は勿論のことお手伝い頂いた会の皆さんの努力が報われホッとしました。記念撮影では、お揃いの割烹着姿が人目を引いたのと、皆さんの笑顔が印象的でした。



## ふるさとの風景

八峰町長

加藤 和夫



七月一日、NHK・BSプレミアムの日本縦断「こころ旅」で八峰町が全国放映されました。

この番組は、視聴者から寄せられた便りに書かれた想い出の場所を俳優の「火野正平」氏が自転車で行く旅する番組で、会員の皆様もご覧になったかと思えます。

八峰町放映のきっかけとなったのは、関東ふるさと会の北郷洋子さんが想い出の風景を一通の便りに託して下さったからであります。

その心に残る風景は、黒い砂浜の中浜海岸と対岸の雄島でした。

便りでは、子供の頃、「ハタハタ最盛期の時、バケツ一杯頂いて家へ持ち帰ったこと」、「夏の熱せられた黒砂に拾ったワカメを入れ緑に変色させて洗い流して食べたこと」、「雄島まで泳げることが目標であったこと」等の自分の思い出と共に、「八峰町は、世界自然遺産白神山地の麓の町であること」や「海岸から見る日本海に沈む夕陽は日本一かも」等々が綴られており、町のPRとイメーリアップに大きな効果があったものと深く感謝しております。

八峰町は、平成二十四年に「八峰白神ジオパーク」に認定されましたが、七月十六・十七日には、東北管内の認定された又は認定を目指している十カ所のジオパーク関連市町村から約百七十名が参集

し、当町でフォーラムが開催されました。我がジオパークのジオポイントの一つが、ブラックサンドビーチと名付けている中浜海岸で、参加者は、直接海岸に出て、当町ガイドの説明を聞きながら黒砂の由来を学習して頂きました。

参加者の中には、「こころ旅」を観た方も多数おり、曇り空で夕陽を見ることは出来なかつたものの、黒砂の散策や雄島を眺めながら、放映された場面とダブラせて楽しかったと大変喜んで頂き、八峰白神ジオパークのPRにも繋がりました。

ふるさと会員の皆様には、お一人お一人に、自分の心に残る想い出の風景が数多くあると思います。

その風景を是非、多くの方々語り、自慢し、八峰町の良さを四方八方（八峰）拡げて下されば幸いです。

私達は、これからも皆様の大切にしていく、誇れるふるさとをしっかりと守り、発展させるため全力で頑張ります。

結びに、関東ふるさと会の益々のご隆盛と会員皆様のご健康とご多幸、ご活躍をご祈念申し上げます



## ふるさとの山に向かひて

八峰町議会議長

芦崎 達美



今年、6月の竹の子採りシーズンには、鹿角市で竹の子採りの人が熊に襲われ死亡するという痛ましい事故が相次ぎました。八峰町内でも熊の目撃情報が多く寄せられ、防災無線での注意喚起が度々行われました。

町内の猟友会員の話では、調査で巡回したところ今年の熊の頭数は異常に多く、今までにないほどのことでした。熊が人里に現れるようになったのは、山で作業する人たちが少なくなり、熊と里の距離が縮まったためとも言われています。

かつては、里山の雑木を薪や炭として利用するために、また、山林の手入れをするために里山で作業をしたものでしたが、今では町内でも山で作業する人をほとんど見かけなくなりました。昭和に入って植林された山林がほとんど手入れをされず放置されたままになっていきます。八峰町の森林面積は18,800 haで東京23区の面積の3割になります。

そのうちの民有林（民間や町で植林した林）の面積は14,500 haもあります。貴重な資源がそこに眠っている訳です。

しかし、時代とともに海外から安価な木材が入り、家の建築様式が変わり、人口減少で新築戸数も伸び悩む今になっては、林業の活性化とは程遠いものになっています。

八峰町は、農林漁業の一次産業が重要な町の産業であり、その活性化が町の発

展に繋がるものと考えています。

安倍政権が唱える「一億総活躍社会」の元、町でも様々な事業を展開して参りますが、町の活性化の基礎は何と言っても一次産業の進展ではないでしょうか。

今後、町議会も行政と一体となり、町の発展のために努力していく覚悟でありますが、ふるさと会の皆様にもご助言・ご指導いただければ幸いです。

今後とも町とふるさと会の皆様が繋がりに深まり、様々な活動を通して町の発展につながることをご期待いたします。

最後に、会員の皆様のますますのご健勝と関東ふるさと会のご繁栄をご祈念申し上げます。





# 八峰町誕生10周年



会場全体で町民歌を斉唱



10周年記念式典の様子

減少と少子高齢化が進行し、厳しい状況は続くが、町民と協働し、町を持続できるような努力する」と式辞を述べました。また、来賓の佐竹知事からは「魅力あるたくさん地域資源を活用し、行政、議会、住民が一致協力して住民が安心して暮らせる地域づくりに取り組んでほしい」と祝辞が述べられました。

式典では、町政発展に大きな功労・功績を挙げた49の個人や団体に対し、町長から表彰状と感謝状が贈呈されたほか、八峰町町民歌を全体で斉唱しました。

式典後のアトラクションでは、中学校の吹奏楽部と峰神太鼓が演奏したほか、石川郷土芸能保存会による「奴踊り」「駒踊り」が披露され、八峰町誕生10周年に華を添えました。

八峰町誕生からちょうど10年を迎えた3月27日、ファガスで八峰町誕生10周年記念式典が行われました。

式典には佐竹敬久秋田県知事や、佐々木哲男秋田県町村会長、金田勝年衆議院議員、石井浩郎参議院議員、中泉松司参議院議員をはじめ、県議会議員や関係市町村長のほか、関係者約120名が出席しました。

町長は「白神の自然と人」とで創るやすらぎの町を将来像に掲げ、10年間、鋭意施策を実行してきた。人口

## 八峰町誕生10年の歩み

## 八峰町誕生10年の変化

- 平成18年(2006) 八峰町が誕生
- 平成19年(2007) 八峰町町民歌が完成
- 平成20年(2008) 中浜地区に中央公園が完成
- 平成21年(2009) 八森地域3小学校が統合し、八森小学校誕生
- 平成22年(2010) 八峰町新庁舎が完成
- 平成23年(2011) 八峰町名誉町民の日沼頼夫博士が文化勲章受章
- 平成24年(2012) 八峰町関東ふるさと会が誕生
- 平成25年(2013) 夏季巡回ラジオ体操開催
- 平成26年(2014) 教育ICT事業を全国に先駆け、町内3小学校でスタート
- 平成27年(2015) 八峰白神ジオパークが日本ジオパークに認定される
- 平成28年(2016) 八森ブルーウェーブが第33回全日本学童軟式野球大会に出場
- 平成29年(2017) 八森地域3子ども園が統合し、八森子ども園誕生
- 平成30年(2018) 塙川小学校と八森中学校で閉校式
- 平成31年(2019) 水沢小学校と峰浜中学校で閉校式

### 世帯数の推移

(平成18年3月→平成28年3月)

※参考：住民基本台帳

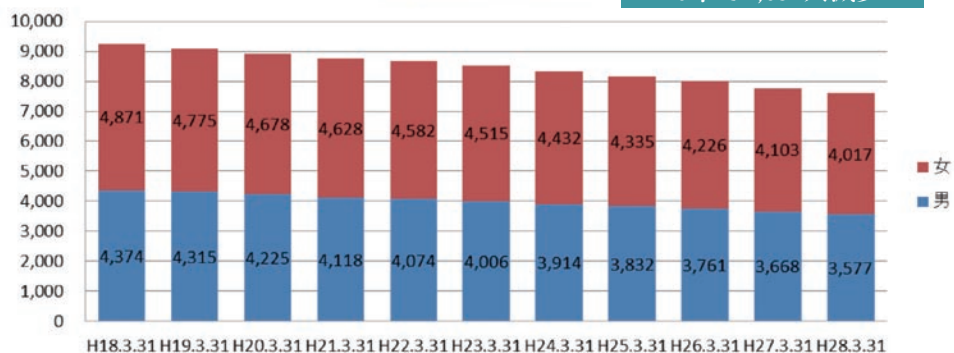
基準月	世帯数
H18.3	3,191
H28.3	3,088
減少数	103

10年で  
103世帯減少

### 男女別人口の推移 (平成18年3月→平成28年3月)

※参考：住民基本台帳

10年で1,651人減少



# ふるさと会ホームページの 現状と更なる活用案内

八峰町関東ふるさと会幹事 白木 仁  
(千葉県市原市在住)

(中浜出身)



平素は当ふるさと会ホームページ(以下HP)をご利用いただき誠にありがとうございます。

お陰様で当ふるさと会HPは開設1年を迎えました。(2015年7月公開)

現在日々20〜40人のアクセスがあり、訪問者は月に延べ600〜700人になります。

昨年12月8日9日には突然80〜90人に跳ね上がり、何があったのかとビックリした事もありました。

調べたら、ちょうど八峰町役場のHPで当HPのH A T T A I グランプリ獲得の投稿記事をご紹介いただいたタイミングでした。

昨年の会報にも書かせていただきましたが、HP開設の目的は「若い世代の会員増」でした。

この1年の結果がどうだったかと言うと、HPの「新規加入申込」メニューからのお申込みは1名でした。

残念ながらもまだその目的にはほど遠い状況です。

今後はターゲットとする関東在住の若い世代へ積極的にアピールする手段を具体的に検討しなければ、と思っています。

ところで、右記のHP開設目的の達成手段の一つとして「掲示板」機能を用意しました。

掲示板機能自体の目的は、単にふるさと会会員間のみならず、地元八峰町の皆

さんや関東在住のふるさと会未加入の方々も含めての「オール八峰町関係者間のコミュニケーションの場」とする事です。

そこから八峰町関係者間の交流を広げると共に深め、その成果の一部として「若い世代の会員増」に繋がる事を期待しています。

単にいつもの仲間の範囲に留まらず、その垣根を越えて誰でもが興味を持ったテーマ(趣味や近況報告など)のコミュニケーションに自由に加われる場としてご利用いただきたいと思えます。(投稿の方法はHPで紹介済み)

また、2016年3月には新着情報へ誰でも自由にコメントを投稿できる機能を追加しました。

各新着情報に対して、ご自分が思った事や感じた事などを自由に投稿し、その投稿のやり取りで投稿者間やHP管理者との間でコミュニケーションを図る目的です。(記事を下へスクロールすると投稿欄が表示されます)

是非、これらのコミュニケーション機能をご利用いただき、お住いの場所や会員/非会員に関係無く、八峰町関係者間の心の繋がりを広げ/深めて行く事に役立てられればと思います。

# ふるさとの味 南蛮べっちよ

「つぶ油」とはエゴマの実。エゴマはソ科の植物で、現在でも、八峰町の旧峰浜村の一部で栽培されている。おらほの館でも取扱っているが希少品でなかなか手に入らない。旬は秋。



八峰町の「はっぼうまし」ブランド推進協議会(鈴木勇会長)は、峰浜地区に伝わる郷土料理「南蛮べっちよ」を町の新特産品として売り出します。具材の一つに菌床シイタケを使い、町特産の消費拡大にもつなげたい考え。

料理研究家からは、その味や名前のインパクトから商品化へ「お墨付き」を得ており、事務局を務める町は「試食などを重ねてレシピを作成し、県内外に流通させることを目標に取り組みむ」と話しています。(北羽新報より抜粋)

レシピ提供: 八峰町石川生活研究グループ

## 《材料》

A	つぶ油※	1合	B	みそ	60g
	キャベツ	1/2個		砂糖	大さじ2〜3杯
	菊(乾燥物で)	1枚		酒	大さじ2杯
	きのこ	200g		七味	好みの辛さ

## 《作り方》

- ① キャベツは芯を取り、茹でてからせん切りにする。菊、きのこも茹でる。
  - ② ①の材料をさらしの袋に入れて水を絞る。
  - ③ つぶ油はから鍋で少し色が変わり、香ばしい香りがするまで煎り、熱いうちにすり鉢でつぶがなくなるまですりつぶす。
  - ④ ③にみそ、砂糖を入れ、酒を2回ぐらいに分けながら少しずつのぼす。(七味も入れる)
  - ⑤ ②の材料に④の練りみそ2/3を入れ、よく混ぜ合わせる。
- 味を見て残りの練りみそで味を調える。



# 八峰町に歴史とロマン

浦嶋 繁幸(埼玉県鴻巣市在住)  
(目名瀉出身)



家の二階の窓から正面に目名瀉山を見て毎日を過ごした水沢小学校時代。

月日の流れは光陰矢の如し、気が付けば73歳になった。ふるさとを離れて半世紀以上が過ぎて、ふるさとの思い出と目名瀉山の風景は今も心の大部分を占めている。

目名瀉山は小学校の遠足で何度か登った。山はほぼ坊主山でふもとの山道に少し林があり、途中山腹の所々にやまぐみや雑木が生えていた。頂上には古びた小さな祠が建っていて山の信仰として村の人々が祀っていたのだと思う。

小学生にとって山頂近くはさすがに急坂で、足を滑らせながら級友と必死で登った。山頂で食べるノリで包んだしように味のにおぎりとゆで卵は格別のご馳走だった。昭和28年頃のことである。水沢小学校の校歌に「朝風かおる母谷山の」とあったが、母谷山(もやさん)が目名瀉山のことだと知らずに校歌を歌っていた。

今回投稿にあたり目名瀉山をもっと知りたいと調べてみて多くの興味深い驚きがあった。目名瀉山(母谷山)、八森山(薬師山)など八峰町一帯は歴史的に古代から人々が生活を営み、この地を愛し、幾多の困難に立ち向かい乗り越えて現在に至る歴史があった。

東北の地は「東国の蝦夷(えぞ、えみし)」と呼ばれ、異文化を持つ独自の民

族として朝廷から敵視されていた。1200年ほど前の平安時代前期、朝廷の命により坂上田村麻呂が蝦夷を討伐するのであるが、討伐の手は米代川を越えて及んだことから、八峰町周辺も当然戦いの影響を受けていたと考えられる。

目名瀉山のふもとに、今から600年程前の室町時代の「蝦夷館遺跡」が発見されているとのこと、見晴らしの良い高台に館を構え、誰が誰をどんな目的で監視していたのか知りたくなる。

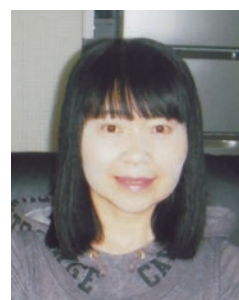
「目名瀉蝦夷倉」の地名はこの時代に遡って関係があるのだろうか? もしや我々の祖先が平安、室町時代よりもはるか昔の縄文、弥生の時代からこの地に住み、海で魚を獲り、山で狩猟し、山菜を採り、田畑を耕し、楽しい事悲しい事、数えきれない危険や困難に遭遇しながらも乗り越えて現在があるのだとしたら八峰町の壮大な歴史とロマンである。また、200年前江戸時代の旅人菅江真澄が八峰町周辺を何度か紀行し日記を残している。1807年春に目名瀉に投宿し、手這坂を見て「桃源郷」と賞したとある。山里に茅葺屋根が数戸たたずみ、そこに咲く桃の花の美しさに仙境を見たのであらう。

私が60年前に見ていた坊主山の目名瀉山。今は木々に覆われて鬱蒼としているが、半世紀、1世紀先はどうなっているであろうか。

八森海岸・八森山・目名瀉山・手這坂など八峰町には私の知らない名所がまだまだ沢山ある筈で、歴史とロマンの一大リゾート地に開発され、日本有数の観光

## またいつか逢いたい

吉住 智恵子(千葉県千葉市在住)  
(水沢出身 旧姓 銭谷)



名所として多くの観光客で賑わっているかも知れない。八峰町の益々の発展を心より願うばかりである。

還暦から2年がたちました。田舎では、懐かしい同級生と久し振りに逢えて交流できたこと、とても嬉しかったです。でも残念ながら、こちらに在住している同級生には、ほとんど逢えていません。これまで何度も機会はありましたが、参加者はいつも限られており、しかもわずかな人数。事情があったり、ためらいがあったり、確かに誰でも戸惑いはあると思います。でも、逢いたいと思う気持ち

はみな同じはず。大好きなふるさとと一緒に学び、一緒にの時を過ごした仲間なんだから。もし逢えるとしたら、やっぱりきっかけは同級会。

私にはかなえられたいいなあと思う願いがあります。覚えていますか、たくさんさんの参加者が有楽町に集い、とても楽しいひと時を過ごしたのを。あれから何年たったのでしょうか。あの時のように、また実現できないのでしょうか。一人でも多く参加して、心温まる再会を果たせないでしょうか。私は誰のことも忘れていません。中学生のあのままで心に焼きつけています。

私たちも62歳になります。もう62歳? それともまだ62歳? 感じ方は人それぞれ

れだけど、無理のないように自分ができることを自分なりに頑張れば、それで充分のような気がします。

初孫は、あのころの私たちと同じ中学生になりました。時々思い出と重なるような場面があったりで楽しいです。これからもいろんなことに感動したり、感謝したり気持ちを忘れずに持ち続けていきたいと思えます。

何気ない日々のなかで、普通に過ごせるのが一番しあわせなことかもしれません。お身体だけは大事にして元気でお過ごしください。田舎での交流も、もちろん大切にしたいなあと思っています。そしていつか再開できることを楽しみに待ち望んでいます。



# 五能線80年

阿部 政美(千葉県船橋市在住)  
(茂浦出身)



ここから「汽車」に乗るのは何年ぶりだろう。

6月下旬に帰省した際、秋田駅で「五能線80周年」のポスターを見かけた。調べると、「五能線は、明治41年開業の能代(現在の東能代)〜能代町(現在の能代)間に始まり、能代方は能代線を延長、五所川原方は陸奥鉄道を延長し五所川原線として建設。昭和11年の陸奥岩崎駅〜深浦駅間を最後に全通し、五能線と改称された。」とあった。全線開通から今年で80年。幼少から慣れ親しんだこのローカル線に新たに感慨を覚えた。

帰省三日目、前日までの荒天とは一転、梅雨とは思えない爽やかな日。ポスターを思い出し、深浦までの往復、車窓の眺めを楽しむことにした。八森駅舎は変わったが、ホームへ駆け上がる階段は昔のまま。ホームからの町並みと日本海、雄島から八森港までの眺めは懐かしさで胸いっぱいになった。出かけてきた甲斐があった!あの頃は、この景色に何を思っていたのだろうか。還暦を迎え、しみじみと景色を愛する年齢になったのか…。

まもなく白地に青いラインの二両編成



ディーゼル車が到着。乗客もまばらだ。平日の昼前、のんびりと楽しもう…。しかしその思いは、あきた白神駅からの大勢のツアー客ですぐに崩れた。車内は満席となり、「撮り鉄」「乗り鉄」の間では有名な五能線の、根強い人気を体感した。一人で座っていたBOX席に、3人組のおばさま達が「失礼します。すみません若くなくて」と。「お互い様です。遠慮なくどうぞ」と私。愛媛からの旅で、十二湖駅からバスで巡るとのこと。海岸線が見える度に歓声が溢れ、「いい所ですね」とおばさま達。「冬は結構大変なんだよ」と思いながらも、嬉しさが手伝い沿線のガイドを二つ、三つ(間違っただけ)

たかな?。あらためて五能線の魅力を感じた一日となった。

「ふるさと会」には3年続けて参加している。この会を機に、3人、5人と同級生が集まり、今年3月末には、2月1日の還暦祝いに参加出来なかった方も含め12人が集まった。懐かしい思い出や、

お互いの近況報告に時間はいくらあっても足りなかった。「ふるさと会」は故郷の匂いと温かさが一杯で、まさに故郷そのもの。勝手だが、同級生が集まる一つの場所になりつつある。幹事の方々のご

## 音楽よもやま話

伊勢 誠治(茨城県日立市在住)  
(中浜出身)



FMラジオをかけた放しにして音楽をよく聴くのですが、心地よい旋律に出会えるのは、年に二、三回もあるでしょうか。「お気に入り」を見つけたには長い時間が掛かるものです。

音楽の好みはジャンルの垣根が無く、クラシックでも歌謡曲でも「好きなものは好き」という主義です。例えば、メンデルスゾーンの「バイオリン協奏曲」やアルビノーニの「アダージョ」などには演歌の薫りがして、美空ひばりと同じように気に入っているという具合です。また、心地よい旋律というのは年々変わってきて、二・三十年前の歌でも今頃突然耳に止まることもあります。もともと知らなかったり、耳を素通りしていた曲でさえ、ジャンルが違う演奏で「お気に入り」になってしまうこともあります。ラテン音楽や、映画「禁じられた遊び」に触発されてギターをかじって、ロス・インディオス・タバハラスを知りました。彼らが奏でるシヨパンの「ワルツ・嬰ハ短調」には出だしの三音で胸を鷲掴みにされたものでした。

自らは聴こうともしなかったバッハで

苦勞に敬意を表し、これからも五能線のように「走り続けて」ほしいと願う。そしてこの「汽車」に毎回乗れる事を楽しみにしている。

したが、ジャックルーシエやオイゲンキケロにより、一方は瞑想的に、片や元気印いっばいに、現代の旋律の如く躍動していました。みな一九六〇年から七〇年代のことでした。

今年の春先でしたが、ラジオから七〇年代の薫りがする歌が流れてきました。それは、今まで一度も聴く機会がなかった「渡良瀬橋」で、「私がおばさんになったら、あなたはおじさんよっ!」がとっても新鮮だった歌手の90年代の作です。インターネットで、男声のギター弾き語りでカバーした曲も見つけて聴きました。ファルセットものびやかで丁寧な歌い方で、原曲の美しさがよく伝わります。二十回は聴いたでしょうか。おぼえてしまいました。ただ…家の近くにはカラオケ屋さんが見当たりません。





# 少数派としてJターンしてから39年。 秋田市の地の利と故郷の美を実感

吉田 朗(秋田市在住)  
(浜田出身)



私は、1954年6月生まれ。1973年3月に能代市の高校を卒業するまで八森町浜田で暮らし、東京の大学に入学。卒業後の1977年4月に秋田市の企業に就職。今年で勤続39年になります。この39年のうち、県外(八戸市、宇都宮市)での8年以外は秋田市での勤務で、秋田市には31年在住しています。八峰町関東ふるさと会の幹事である須藤正喜さん、白木仁さんとは中学高校の同級生です。

Jターンとは、ネットで調べると、「地方から大都市へ移住した者が、生まれ故郷の近くの(元の移住先よりも)規模の小さい地方都市に戻り定住すること」。ちなみに、Uターンは「生まれ故郷に戻る」と、Iターンは「故郷とは別の地域に移住すること」とあります。私の場合、「地方(八森)」↓「大都市(東京)」↓「故郷近くの地方都市(秋田市)」へ移住となりますので、Jターンにあてはまります。

1997年発行の『八森中学校創立五十周年記念誌』によれば、1970年3月卒業の私の同級生157名中、住所が記載されていない方を除く150名のその時点での住所の内訳は次のとおりです。秋田県外71名(Iターン)、八峰町42名(Uターン)、八峰町を除く秋田県内37名(Jターン)。Jターン者は少数派のようです。中学同期の同窓会が例年東京で開かれており、このつながり・結集力には敬意

を表します。少数派の私からみればうらやましいと思います。

しかし、少数派の私にもメリットはあります。31年在住する秋田市は、故郷(八森)にはない利便性と、都会(東京)にはない自然環境を合わせ持つ「それなりの地方都市」です。当たり前のことですが、故郷(八森)に近いのです。秋田市の自宅から約80km。高速道路を使うと車で1時間20分もあれば浜田の自宅に着きます。たざわ湖スキー場も同じくらいの距離なので、昨年の冬からスキーを再開しました。これもメリットの一つです。

八森に帰るときは、能代南インターで高速を出て、「風の松原」沿いの道路に能代公園―おらほの館(道の駅「みねはま」―実家というルートをたどります。能代公園を抜けて国道に出ると、向能代あたりから白神山が良く見え始めます。亡き父に言わせれば「ただの山」でしたが、素敵な風景だと思ふ時があります。また、桜の時期には、能代市文化会館(旧能代高校跡地)と旧淳城第二小学校(現在、能代市役所の新庁舎建設中)、そして八峰町の御所の台ふれあいパークへ花見に行きます。いずれの桜も見事です。とりわけ、御所の台ふれあいパークからは海も良く眺められます。海も眺められる桜の名所は珍しいのではないのでしょうか。お気に入りの風景です。皆様も桜の時期に是非いらしてください。

# ふるさとを離れて

八峰町関東ふるさと会幹事 三浦 博  
(千葉県我孫子市在住)  
(中浜出身)



八森茂浦の親戚の家で生を享け、物心つく前に北海道に渡り幼少期を過ごしましたが、母方の祖母が入院、看護婦をしていた母が看病をすることとなり、昭和42年に生まれ故郷である八森町に戻って来ました。急な事であったため、磯村にある親戚の家に一時居候、当時はめづらしい? 転校生であった私は旧八森小学校に転入、1クラスしかなかった事もありません。クラスメートの名前も覚えることができませんでした。クラスの皆から「おめ、いい言葉使うな」と言われた事を今でも良く覚えています。その日から、学校では秋田弁、家では標準語を使うバイリンガル(笑)となりましたが、そのおかげもあり東京に就職してからは何の苦労もありませんでした。

半年後、祖父母が住んでいた中浜に引っ越し、旧観海小学校、旧八森中学校、能代工業と進学し、八峰町の自然豊かな環境の中で育てられ、青春を大いに謳歌することができました。今振り返って見ますと、八峰町は全国でも教育レベルが高いだけではなく、先生方が熱心に教える、また地域の人々も町をあげて子供たちを育てていこうという意識が高い素晴らしい町であったな、と思ひ起こしています。本当にお世話になりました。

さて、ふるさとを離れて四十年近く経ち、仕事の関係で「八峰町関東ふるさと会」の会長と出合い、会長が能代工業出身

身ということもありすぐに打ち解け、気が付くといつの間にかふるさと会の幹事を担当することとなりました。昨年より参加でまだ2年目ではありますが、先輩幹事の方々と楽しく打ち合わせをさせていただいております。初対面の方ばかりでしたが、そこは同じ町の出身者ということで皆さん気がねなく接してくれ、35年ぶりの中学の同期会で帰ってからまたしばらく経ってしまいました。還暦になった際は是非帰省し皆に会いたいですね。

ふるさとはなかなか頻繁に帰ることはできませんが、ふるさと会の幹事会に出席すれば、同郷の皆さんとのローカルな話題は尽きることがなく、楽しいひと時を過ごす事ができます。「八峰町関東ふるさと会」はそんな場所です。関東近郊にお住いの方のご参加を是非お待ちしております。

幾つになってもふるさと八峰町を忘れることはありません。当たり前のようにある今の暮らしは、この町で育てられ、お世話になった方々のおかげです。これからも、この町に少しでも恩返しができるばと考え、微力ながら活動をしていきたいと思っております。



# 第7回総会・懇親会スナツプ

2015年11月15日(日) 於アルカディア市ヶ谷

紙面の制約上、掲載写真が限られてしまいます。写真は他にもあります。  
当会ホームページをご覧ください。 **八峰町ふるさと会** で検索



芦崎議長挨拶



加藤町長挨拶



神馬会長挨拶



雄島花火大会PR活動も盛況



おらほの館・白神八峰商工会の物産販売



熱々のきりたんぽに行列



加賀亮司さんの特別講演





今年も会えました。お酒もすすみます



同窓会。今年も会えました



今年も会えました。やっぱりきりたんぽ、んめえ



3年ぶりに、今年も会えました



今年も会えました。記念写真



みんな元気に、今年も会えました



抽選会、会長賞ゲット



今井綾子(小山会)さんらによる津軽三味線の演奏



## ふるさと納税で「ふるさと応援号(研修バス)」を購入しました!

平成20年度から始まりました「ふるさと納税」制度により「八峰町を応援したい」という多くの想いを寄せて頂き、全国の皆様から多数のご寄附を頂きましたことに心からの感謝を申し上げます。

平成20年度から平成26年度の7年間に、201件総額『10,212,000円』のご寄附を頂きました。本当にありがとうございます。これまでに頂いた寄附金は「ふるさと八峰応援基金」に積み立てておりましたが、町議会とも協議を重ねた結果、「ふるさと応援号(研修バス)」の購入費に充てさせて頂きました。

今回、購入したバスは、学校行事や生涯学習など、幅広い分野に活用させて頂きます。最後に、皆様のご支援に改めまして感謝申し上げるとともに、今後も八峰町へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

申し込み・問合せ先／八峰町企画財政課 電話 0185-76-4603  
E-mail／kikaku@town.happou.akita.jp



素早い手さばきに声援が送られました～水沢郷中大運動会～ **9月**

広報はっぼうでみる

## 八峰町の出来事

広報「はっぼう」のお申し込みは  
八峰町役場企画財政課まで  
TEL. 0185-76-4603 FAX. 0185-76-2113  
年間購読 2000円(毎月1回発行)



威勢のいい掛け声が響く～白瀑神社例大祭～ **8月**



～141年の感謝を込めて～水沢小学校閉校記念式典 **3月**



安全・安心なまちづくりを目指して～八峰町消防出初式～ **1月**



希望を胸に抱いて～八峰中学校入学式～ **4月**



お出かけ下さい!

## 首都圏で行われる八峰町の催し物案内

### ■八峰白神特産品フェア 第一弾

期日：平成28年9月29日(木)～10月1日(土)  
9:30～18:00

場所：武蔵小山商店街「レンタルショップかたおか」  
東急目黒線他 武蔵小山駅下車、徒歩3分

内容：果物、乾物など試食・販売

### ■八峰白神特産品フェア 第二弾

期日：平成28年10月6日(木)～10月8日(土)  
9:30～18:00

場所：阿佐ヶ谷南口商店街 入口から約50mの右側  
JR中央線、阿佐ヶ谷駅下車、徒歩2分

内容：果物、乾物など試食・販売

### ■秋田・鳥取 うまいぞ! ハタハタ フェスティバル

期日：平成28年11月25日(金)～11月26日(土)  
10:00～16:00(金) / 10:00～15:00(土)

場所：築地場外市場 築地魚河岸ビル屋上  
東京メトロ日比谷線「築地」駅下車、徒歩1分

内容：しょっつる鍋、メンチカツなどのハタハタ料理、  
秋田・鳥取名物料理など販売



阿佐ヶ谷南口商店街での特産品販売



ハタハタフェスティバルでのHATA-1グランプリ獲得記念撮影

## 首都圏秋田県人会連合会行事案内

### ■第55回芸能大会

期日：平成28年10月9日(日) 10:00～16:30  
入場無料、申し込み不要

会場：文京区役所文京シビックセンター(小ホール)  
東京メトロ南北線、丸の内線「後楽園駅」  
徒歩1分

内容：民謡、歌謡、舞踊などの披露

### ■平成28年度文化部イベント「ジョイントコンサート」

期日：平成28年11月19日(土) 17時開演

会費：1,000円

会場：アルカディア市ヶ谷 6F 霧島  
JR中央線 市ヶ谷駅 徒歩2分  
地下鉄有楽町線、新宿線 市ヶ谷駅 徒歩2分  
出演者：小松田 茂(横手市出身テノール歌手)  
山崎 又男(井川町出身尺八演奏)

懇親会(希望者のみ)：コンサート終了後、同会場で  
別途会費 6,000円



芸能大会 写真提供：首都圏秋田県人会連合会広報部

申込み先：八峰町関東ふるさと会副会長 麻木(あさき)  
電話03-3859-3660

四季の語らい、  
くつろぎのひととき。



<http://www.arcadia-jp.org>

BANQUET 宴会・会議    ACCOMMODATION 宿泊    RESTAURANT レストラン

JR線・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線) 市ヶ谷駅 徒歩2分

## アルカディア市ヶ谷

私学会館

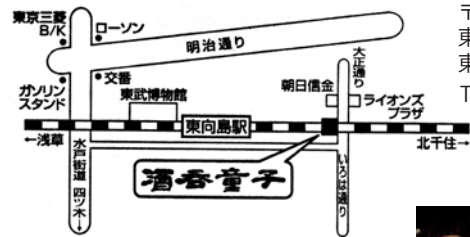
宴会予約直通 **03-6685-0540** 宿泊予約直通 **03-6685-0541**  
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 TEL 03-3261-9921(代表)

## 秋田料理

各種御宴会の  
御予約承ります。

# 酒香童子

ひや てん どり び



〒131-0032  
東京都墨田区  
東向島4-43-10  
TEL.03-3619-1676

スカイツリーの  
お隣元

スカイツリーきりたんぼ



### 姉妹店



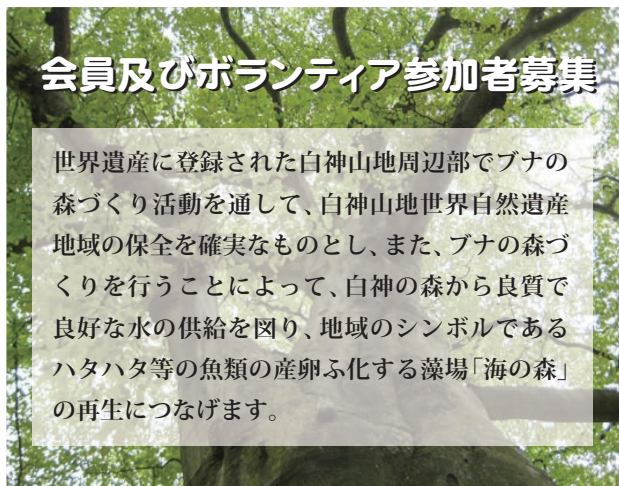
東京都墨田区東向島2-15-3  
TEL.03-3616-8929  
<交通>東武伊勢崎線「曳舟駅」より徒歩1分



東京都墨田区東向島2-11-21  
TEL.03-3612-4129  
<交通>東武伊勢崎線「曳舟駅」より徒歩2分

## NPO法人 白神ネイチャー協会

白神ネイチャー協会の活動内容、入会申込等につきましては、下記までご連絡ください。



### 会員及びボランティア参加者募集

世界遺産に登録された白神山地周辺部でブナの森づくり活動を通して、白神山地世界自然遺産地域の保全を確かなものとし、また、ブナの森づくりを行うことによって、白神の森から良質な水供給を図り、地域のシンボルであるハタハタ等の魚類の産卵ふ化する藻場「海の森」の再生につなげます。

ブナ苗の里親を募集しています！！  
白神山地 植えようブナを、育てようあなたの心

白神ネイチャー協会事務局

■TEL:0185-70-4211 ■FAX:0185-70-4214  
■URL <http://www.shirakami.or.jp/~asna/index.html>

## 小物農機レンタル!

(レンタル機につきましては、1日以上とさせて頂きます。)

背負動噴霧用	1日3,000円	2台	溝切機	乗用、ほか	1日5,000円	2台	
動力散布機	粉と粒	1日3,000円	2台	管理機	耕巾500mm	1日3,500円	3台
エンジンポンプ	φ25mm	1日2,000円	3台	高速洗浄機	エンジン付	1日3,500円	1台
刈払機	背負・肩掛	1日3,500円	5台	発電機	100V交流12A	1日3,500円	1台
チェーンソー	中 型	1日3,500円	3台	ウイングモア	φ700mm	1日4,500円	1台
ハウス用オーガー	φ35mm	1日3,500円	1台	スプレッダー	手 押	1日2,000円	1台

農家のパートナー  
小物農機・販売サービス **AV アシザキ NOUKI**  
〒018-2504 山本郡八峰町峰浜石川字外林33-21 TEL・FAX 0185-76-2884

病院からもらった処方箋の事など、  
お薬のことなら専門の薬剤師が丁寧にご説明いたします。



LINUS PHARMACY

## ライナス薬局

TEL.0185-70-4160  
FAX.0185-70-4170 八峰町八森字古屋敷13-6

月～土/朝8:00～夜7:00  
休日/日・祝日



# 秋田・味めぐり一番所 はちもり



古来より、白神の里に伝わる伝承の味。  
はたはたずし  
秋田名物

(ハタハタ入り焼きかまぼこ・鱈ずし) 発送承ります!!

## ⊕ (株)鈴木水産

☎ 0120-022170 FAX 0185-77-3601

HPは「鈴木水産 秋田」で検索!

<http://www.suzuki-suisan.co.jp/>

白神山地の天然湧水仕込だけで  
酒造りを行なう全国で唯一の蔵元



# 白瀑

八峰町八森字八森269

TEL/0185-77-2311 FAX/0185-77-2312

ふるさとの味と香り、おいしさそのまま贈ります。



## 秋田名物 きりたんぼセット

地方発送  
承ります

10月上旬から  
2月下旬まで  
発送いたします。

申し込みご予約は

TEL.0185-76-2529 FAX.0185-76-3156

〒018-2507

秋田県山本郡八峰町峰浜田中宇大土面 17 レストラン 峰

ホームページ <http://www.shirakami.or.jp/~mine/>

昔懐かし、ふるさとの味

# おやき



セキトの「おやき」は9月上旬から翌年3月下旬までの「季節商品」です。  
八峰町へお戻りの際は、是非「焼き立て」をお召し上がりください。



株式会社 セキト

●上町本店 〒016-0817 能代市上町12-2

[www.sekito.net](http://www.sekito.net)

TEL.0185-54-3131

地方発送のご注文はこちらへ

FAX.0185-54-2433

## 日本海と白神山地が出逢う宿

海の幸たっぷりのお料理とあったかい温泉で  
心と体を癒してください

ど  
宿  
泊

- 美しい景色を一人占め
  - 特別な時間をゆったりと過ごす
- 八森いさりび温泉

# ハタハタ館

ホームページ: <http://www.hatahatakan.jp/>

秋田県山本郡八峰町八森字御所の台51番地

TEL: 0185-77-2770(代)





# 地域と共に!



**Panasonic** エルポートシロキ

八峰町八森字中浜 TEL 77-2323・FAX 77-2324

子どもに夢を! 誇れる郷土を!  
地域に活力を!

## 第31回雄島花火大会

8月15日打ち上げ(毎年)

雄島花火実行委員会

委員長 諸沢英紀

白神の海と大地の夢を育む

## 白神八峰商工会

会長 大森 三四郎

秋田県山本郡八峰町八森字中浜 41-3  
TEL:0185-77-3161 FAX:77-3008



あわびの里づくりまつり

平成29年8月上旬開催予定

☆参加者には2年後に「あわび」をお送りします。

## おらほの館

地元野菜の直売とご当地ソフトクリーム

TEL0185-76-4649



おいしい

道のレストラン はっぼう ☎76-4455

八峰町峰浜沼田ホンコ谷地 147-6 道の駅となり

## 安心して旅立ちの日を迎えるために・・・

介護・終末期医療・葬儀・お墓、埋葬など自らの意思を実現する方法として  
家族に負担をかけず、自分も安心できる【生前契約システム】を考えて見ませんか

株式会社

## 東日本メモリアルサービス

(24時間365日対応)

0120-565-594

〒116-0003 東京都荒川区南千住6-30-12-203

対応エリア 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・秋田県

代表者 成田竜也 39歳  
北秋田市(旧・鷹巣町)出身



ご来場のみなさまへ、笑顔の「おもてなし」でご案内。

## 能代市新山前 建学会 好評開催中!

ウッドデッキ&フェンスで  
6番目の部屋を実現!



和と洋が調和した  
一度見たら住みたくなる家



木炭&ひば&珪藻土パワリー!

家がなるなる  
直営の大工み

http://www.takajuu.co.jp

信頼は時の流れを超えた絆です

高田住宅工業株式会社

ISO9001:2008取得 顧客の皆さまを満足させる品質を創出し、社会に貢献する

宅地建物取引業 秋田県知事免許 (9)1047号

本社/能代市昭南町7-1

TEL 0185-54-6518 FAX 0185-55-0750

不動産部/能代市昭南町7-1

TEL 0185-74-5044 FAX 0185-74-5043

峰浜本店/山本郡八峰町峰浜高野々字高野々43-1

TEL 0185-76-3493 FAX 0185-76-2186

秋田支店/秋田市八橋大沼町15-10

TEL 018-896-7773 FAX 018-896-7774

www.takajuu.co.jp



秋田比内地鶏生産責任者の店

**本家あべや**

- 【 秋 田 店 】 tel: 018-825-1180  
〒010-0001 秋田県秋田市中通 143 エリアなかいち商業施設内1F
- 【 神 楽 坂 店 】 tel: 03-5225-2664  
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 3-2-40 co&co ビル1F
- 【 東京駅北町ダイニング店 】 tel: 03-6256-0518  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-9-1 東京駅八重洲北口2F
- 【 KITTE GRANCHÉ 店 】 tel: 03-6256-0822  
〒100-7090 東京都千代田区丸の内 27-2 JPタワー-KITTE B1
- 【 六 本 木 店 】 tel: 03-6447-1548  
〒106-0032 東京都港区六本木 4-12-6 内田ビル1F
- 【 ららぽーと横浜店 】 tel: 045-414-1658  
〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町 4035-1 2F
- 【 静 岡 店 】 tel: 054-260-7095  
〒420-0852 静岡県静岡市葵区紺屋町 3-1 CROSSNINE 8F



本家あべやでは  
秋田県人会連合会会員様限定の  
御優待サービスをご用意して  
おります。様々な特典の付いた  
会員カードを発行致します。

店頭にて「塩分感受性試験」(ご希望の方に)行っております。

『在宅薬剤管理指導』行っております。

**皆川薬局**

秋田県糖尿病療養指導士

薬剤師 皆川鉄治・山脇一輝・北林真実

八峰町峰浜沢目駅前 TEL.76-2052・FAX.76-2199

営業時間 8:00~18:00 / 休業日 日曜日・祝祭日

白神山地から湧き出る天然水と、地元農家の青大豆のみを使用



究極の美味 **グリーン豆腐**

従来の豆腐より栄養価が高く  
ほんのり緑色で甘味があり、こくが深く、  
美味です。

◇◇◇◇ 松岡食品 おかげさまで創業 68 年を迎えました ◇◇◇◇

〒018-2664 山本郡八峰町八森字古屋敷 43-3  
松岡 清悦・松岡 清也  
TEL 0185-77-2024 FAX 0185-77-3646  
E-mail: info@atsuoka-foods.com



◆◆◆ 和洋菓子舗 ◆◆◆  
八峰町のおみやげに



カステラドーナツ



チーズブッセ

美味しいお菓子の店

**高峰堂**

八峰町峰浜高字豊後長根145 TEL 0185-76-2041

営業時間 7:00~19:30 不定休

あふれる緑、大地と共に輝く未来



**秋田やまもと農業協同組合**

本 店 〒018-2104 秋田県山本郡三種町鹿渡字町後 270  
TEL:0185-87-4600(代) FAX:0185-87-4200  
代表理事組合長 阿部 隆一

八峰支店 〒018-2503 秋田県山本郡八峰町峰浜高字豊後長根65-1 TEL:0185-76-3151(代) FAX:0185-76-3959



日本海の旬の魚  
家庭へ届けます

**0185-77-2255**



秋田県山本郡八峰町八森字横間 156 番地先  
秋田県漁業協同組合  
北部総括支所

# 第8回八峰町関東ふるさと会総会・懇親会案内

- 開催日:平成28年11月20日(日)
- 会場:アルカディア市ヶ谷
- 受付:11時00分～
- 総会:12時00分～12時30分
- 懇親会:12時30分～15時30分
- 懇親会費:6,000円(学生:3,000円、小学生以下:無料)
- 年会費:1,000円

## ■会場へのアクセス

地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A1出口  
 地下鉄新宿線 市ヶ谷駅 A1-1またはA4出口  
 JR中央線 市ヶ谷駅  
 ※上記出口から徒歩約2分



## 特別ゲスト:うしく河童鳴子会(ふるさと会役員の塚本康子さんが所属)

### 《団体紹介》

私たち「うしく河童鳴子会」は、茨城県牛久市を拠点として活動している「よさこいソーラン踊り」のチームです。

三度の飯より踊りが好きという会員は総勢約40名。上は70歳代から下は小学生まで、鳴子両手に日々の練習に励んでいます。

そして、地元「うしくかっぱ祭り」をはじめ、県内外の様々な祭りやイベントに参加しています。鮮やかな衣装に身を包み、元気いっぱい笑顔の舞いを披露いたします。

当日は10名ほどで演舞予定です。

※塚本さんは13年前に始め、現在はお嬢さん、お孫さんの3世代で踊っています。



### 編集後記

お陰様で第7号の会報発行となりました。今年には八峰町誕生から10周年の年として、当会報にはその旨の記事を掲載させていただきました。誠にありがとうございます。

例年のことながら、八峰町長、ならびに、議長そして関係担当者様からのご寄稿は有難く、心強く、感謝の念でいっぱいです。そして会員の皆様からのご投稿は、何よりも嬉しいことでした。ふるさとへの想いは、皆様と同様に募る一方です。どうぞ、来年度の皆様からのご投稿を、お待ちしております。(北郷)

### 八峰町関東ふるさと会事務局

〒184-0001  
 東京都小金井市関野町1-3-35 成田 勘一方  
 TEL/FAX 042-383-0278

### 八峰町関東ふるさと会・役員一覧

- 会長:神馬 信一
- 副会長:麻木 固磨、内山 由子、北郷 洋子、戸田 真里
- 幹事長:成田 勘一
- 副幹事長:船越 鉄実、芹田 忍
- 幹事:黒浜 茂子、本多 義春、白木 仁、丹波 テツ子、須藤 正喜、塚本 康子、飯田 良子、吉江 后子、三浦 博
- 監査:菊地 弘美、鈴木 輝志郎
- 顧問:富岳 智猛、藤田 秀夫、秋山 芳輝

- 発行:八峰町関東ふるさと会
- 発行責任者:神馬 信一
- 編集委員:北郷 洋子、成田 勘一、白木 仁、内山 由子、須藤 正喜、芹田 忍